



2007年1月1日
新春号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

江東区議会議員
徳永まさひろ

民主党公認決定！！

～2期目に向けて4年間の実績を振り返る～



区議会4年間を振り返って



新春のお慶びを申し上げます。今年もすべての方々にとって幸せな1年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

早いもので、平成15年の初当選からあと4

ヶ月有余で4年になります。この間、多くの支援者の皆様に支えられながら、5回の一般質問と各委員会での多くの質問に立たせていただきました。そこで感じたことは、政治活動の場が、衆議院議員の秘書から区議会議員に変わったことの大きな違いは、責任感とやりがいでした。

秘書時代、国会での質問作りは教育関係に力点を置いていました。子供が3人生まれ、幼稚園、小学校、中学校と保護者として教育の実態を中から知るにつけ、骨抜きにされた戦後60余年余の教育制度のあり方を根本から見直さないと、21世紀の日本の前途は、子供たちの未来は、決して明るいものではないと感じ、学級崩壊、学校崩壊、登校拒否、いじめ、教員の指導力不足等の問題を追及する質問を書いてきました。

そこで区議会議員になって最初の所属委員会は、文教委員会を選択しました。そこでの議論は、国会の議論を見てきたものとしては、とても残念でお粗末なものでした。報告事項がほと

んどで、教育内容を根本的に議論するにはあまりにも儀礼的なものでした。しかし一方で、地方議会が、区内の小中学校の教育問題に直接取り組める立場にあることもよく理解できました。議論の中身は国会に比べお粗末でも、権限と実効性は区議会の方がはるかにあり、議員という立場で自ら様々な教育政策に取り組むことができたのは、秘書時代と違う大きなやりがいでした。

これからも教育問題に限らず、福祉政策・中小企業対策・財政計画から街づくりまで、生活者の視点に立った議会活動を展開していきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

徳永まさひろ

～プロフィール～

- 昭和36年7月2日生まれ 45歳
- 昭和60年より都議会議員秘書、参議院議員公設第一秘書、衆議院議員あずま祥三公設第一秘書を経て現職。
- 所属委員会
厚生委員会 / 南北交通放置自転車対策特別委員会 / 江東区健康スポーツ公社評議委員
- 民主党江東区総支部副会長 / 江東区立中学校PTA連合会副会長 / 江東区立第三亀戸中学校PTA会長 / NPO法人日本子守唄協会理事